

池巡り自然探勝路：六観音御池

六観音御池は、池巡り自然探勝路の3湖のうちで最も大きく、直径は500メートルにおよびます。また、水深も3湖で最も深い14メートルです。この深さと火山灰のため、湖の水は鮮やかなコバルトブルーに見えます。湖の色は周囲のミズナラやカエデが深紅と金に色付く秋になるとさらに印象的です。これらの木々の間に常緑樹が混ざり、深い青色の水面には豪華な錦模様が映し出されます。木々の向こうには、重厚な存在感を放つ韓国岳がそびえています。

「六観音」とは「六体の観音」という意味で、慈悲の仏である観音菩薩の六道の各世界における変化身を表したものです。六観音御池の湖畔にある六観音堂にはもともと、性空という僧が、この場所でヤマトタケルの顕現に触れたことをきっかけとして彫った六観音像一式が安置されていました。これらは後に、牛をはじめとする家畜の守護仏である馬頭観音の像一体に置き換えられました。